

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	超小型衛星の多目的実用化時代に向けたオールラウンド超小型宇宙推進系の実現
研究代表者	小泉 宏之 (東京大学・大学院新領域創成科学研究科・准教授) ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>応募者は、勃興する50kg級小型衛星に適合する推進機を完成させ、世界に先駆けて宇宙での作動に成功した。さらに10kg級超小型衛星へと進展する世界的趨勢を捉え、技術を一層先鋭化し、超小型推進系における日本の技術的優位性を維持・発展させる研究を提案している。推進機の耐久性・信頼性が未成熟な段階で、研究成果の宇宙ミッションへの適用は、尚早の懸念もあるが、本研究の成果としてこれらの課題が解決されるとともに、電気推進工学領域に新たな概念が生まれる可能性があることから、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>